

# 国際的な連携で 教師を育てる

筑波大学 小野正樹

---

世界各地の社会的要請に対応可能な  
日本語教育シンポジウム

2023/09/25

# 筑波大学の日本語教師養成プログラム

## • 学士

University of Tsukuba  
日日(にちにち)へようこそ!

筑波大学日本語・日本文化学類（通称「日日（にちにち）」）は、日本における言語・文化事象を総合的に捉え、グローバルな視点で学べる学類です。多文化共生社会を見据えたうえで、異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる文化の創造者たる人材を養成します。

日日ってどんなところ?  
ABOUT US

教員の紹介  
FACULTY

教育の目標と特色  
AIMS

カリキュラム構成  
CURRICULUM

多文化共生への取り組み  
DIVERSITY

## • 大学院（博士前期課程）

筑波大学  
University of Tsukuba

人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群  
国際日本研究学位プログラム

国際日本研究  
INTERNATIONAL AND ADVANCED JAPANESE STUDIES

HOME Site Map

国際日本研究とは  
About Us

教員  
Faculty

入試  
Prospective Students

博士論文  
Dissertations

刊行物・関連研究など  
Publ & R.Researches

連絡先  
Contact Us

国際日本研究とは  
About Us

特色  
The Program

博士前期課程  
Master's Program

博士後期課程  
Doctoral Program

連絡先

国際日本複合研究  
国際日本社会科学  
国際日本文学  
日本語教育学

University of Tsukuba Top Global University Project  
Japan-Expert (学士) プログラム

Japanese English

筑波大学  
University of Tsukuba

プログラム概要  
教育方針・カリキュラム  
教育体制  
学生支援  
教員・学生の声  
入試情報

教育方針・カリキュラム

アグロノミスト養成コース

ヘルスケアコース

日本芸術コース

日本語教師養成コース



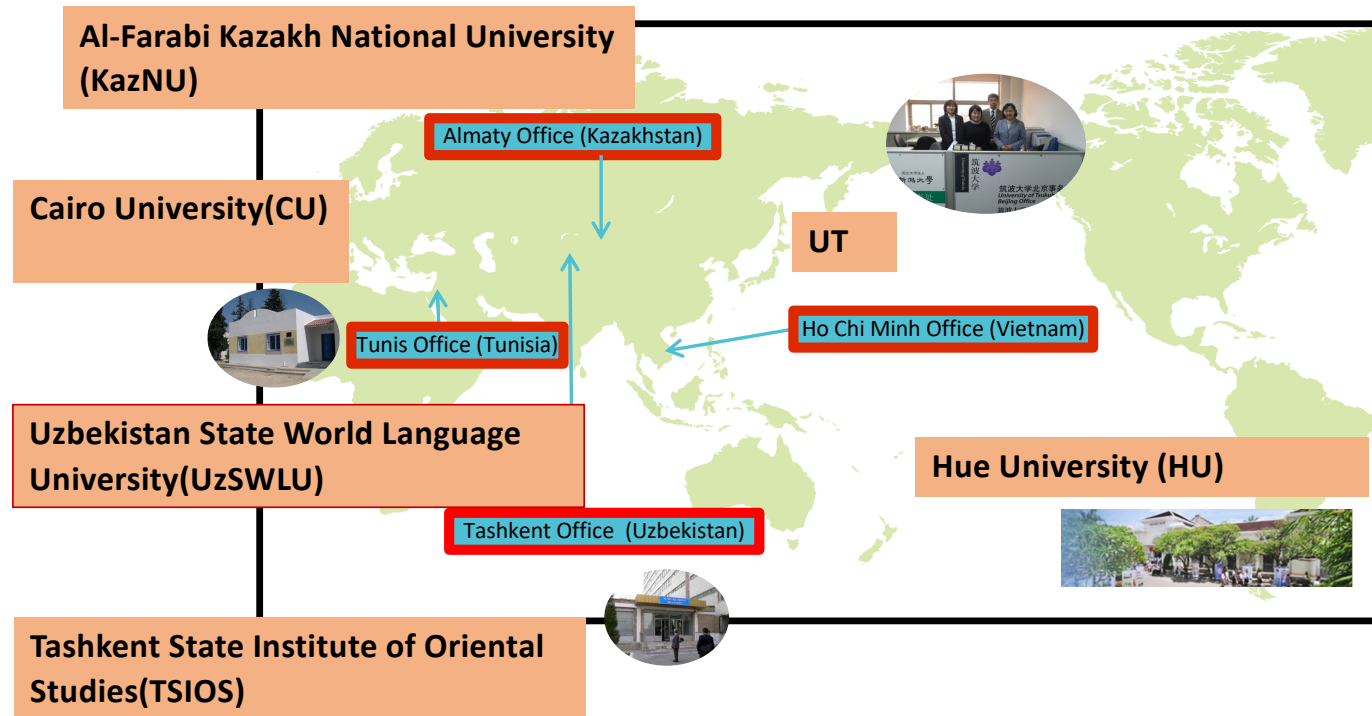
筑波大学 Research Center  
for Japanese Language Education

日本語教育研究拠点

アジア・アフリカ学術基盤形成型  
社会的要請に対応可能な日本語教師養成の拠点形成  
令和2（2020）年度採択課題（支援期間：令和2(2020)年4月～

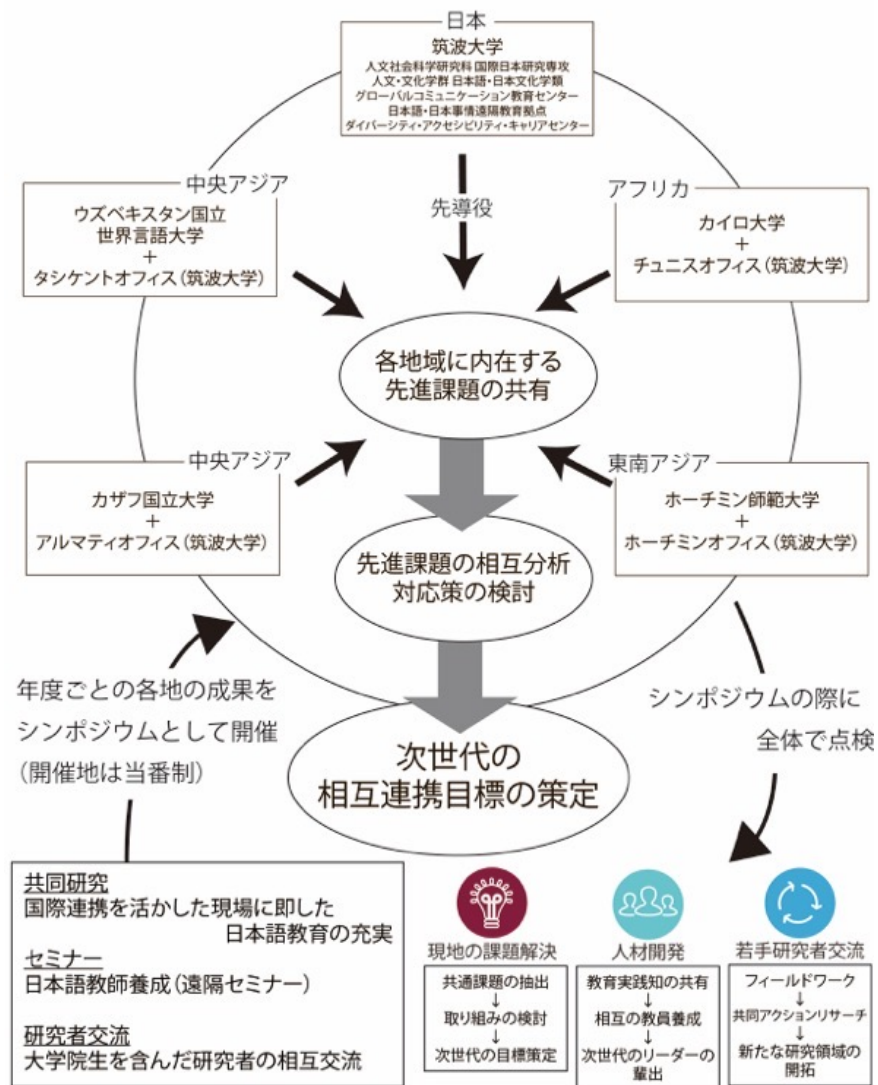
本プロジェクトでは日本語教育の今後の発展が期待される中央アジアのウズベキスタン、カザフスタン、東南アジアのベトナム、アフリカのエジプトの日本語教育研究組織と連携して、日本語教育スタンダードや教材、それを活用できる人材育成に取り組みます。社会的に求められる新たな日本語人材を育成しなければなりません。それぞれの地域が抱える将来の課題が、時間の推移や社会制度の変化で、どの地域でも解決すべき課題となるでしょう。日本語教育の学習内容、学習方法を一緒に考え、学習者が自律的に学ぶ仕組みを学習者に提供し、能率的な学習方法を開発していきます。

## Partner Universities and UT Offices

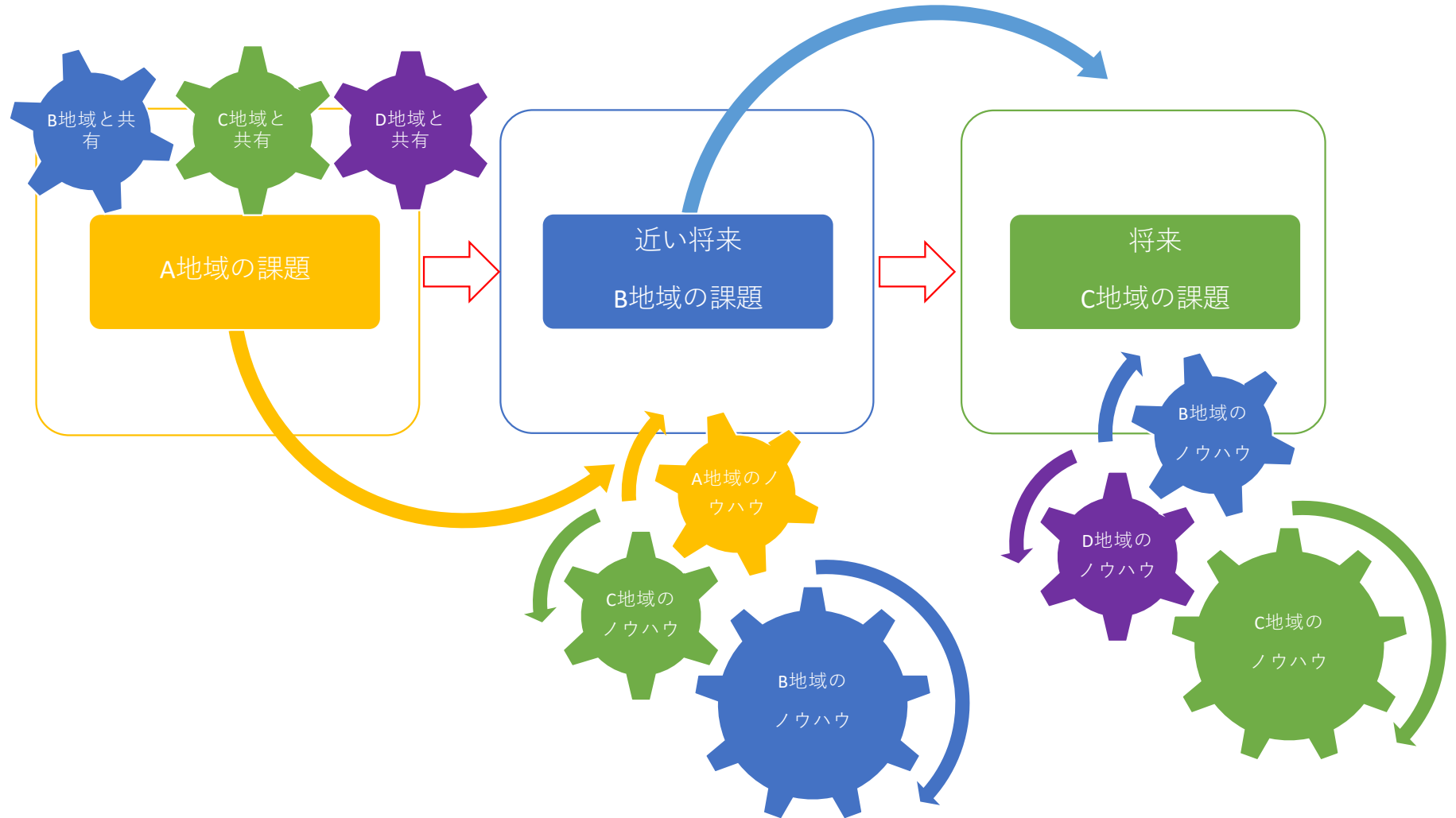


# 最終目的

## 日本語教育国際連携拠点の形成



JSPS研究拠点形成事業  
－アジア・アフリカ学術基盤形成型－  
社会的要請に対応可能な日本語教師養成の拠点形成



# 世界で日本語教育を学ぶ人への社会的要請

- 日本語教育学を学んだ先
- 近くにロールモデルがいるか。
  - (他言語ではなく) 日本語を選択する意味は何か。
  - 日本語・日本研究を選んで、日本で学ぶ意味は何か。
- 修了後に (教育・研究) 仲間として活躍して欲しい
- 修了後に (日本語教育に関わる社会・学会で) 活躍して欲しい
- 学位を取って欲しい

## 指導教員としての期待

# 世界の日本語学科への社会的要請

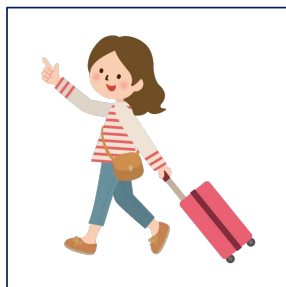
- 日系企業との結びつき
- 各大学の中での日本語教育の位置づけ
- 若手教員の育成
- 様々なスキルの習得
- アカデミアとしての自立
- 他の研究者との交流

大学教育としての期待



# 見つけたテーマ

- 【教材開発】 大規模授業のための日本語教育
- 【教材開発】 ウクライナ支援
- 【人材育成】 ビジネス日本語
- 【教材開発】 【人材育成】 観光日本語
- 【共同研究】 研究のための日本語教育
- 【共同研究】 実用的対照言語学



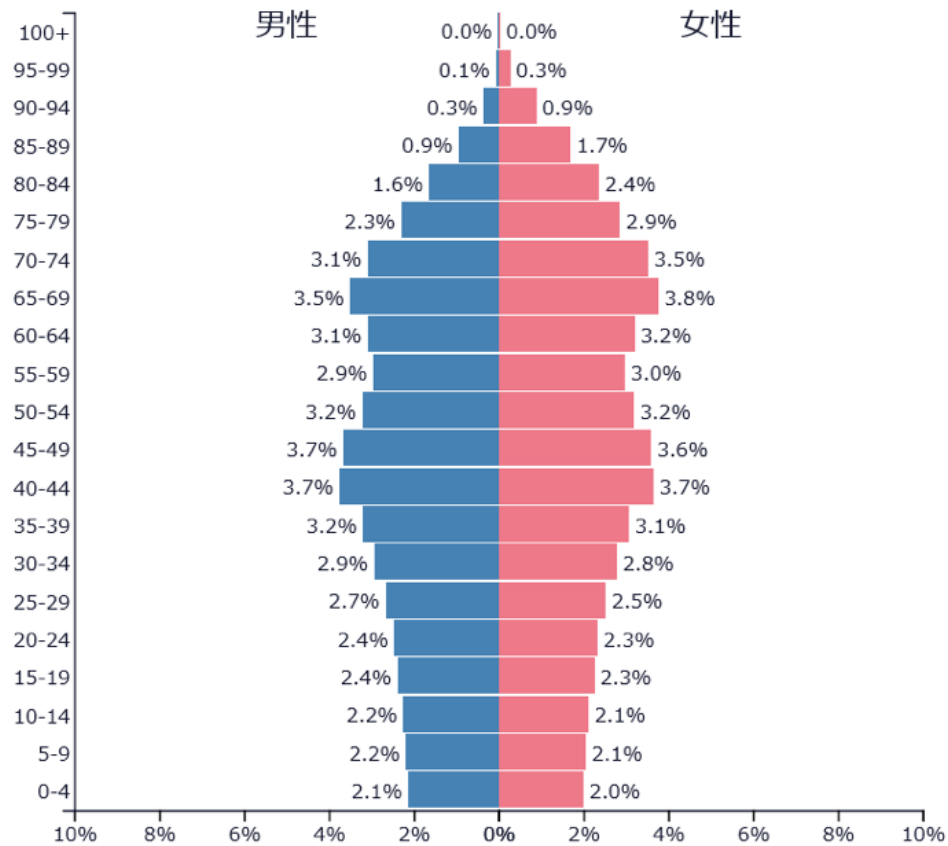
# 社会的背景の異なり 年齢層の比較

出典 <https://www.populationpyramid.net>

日本 ▼

2017

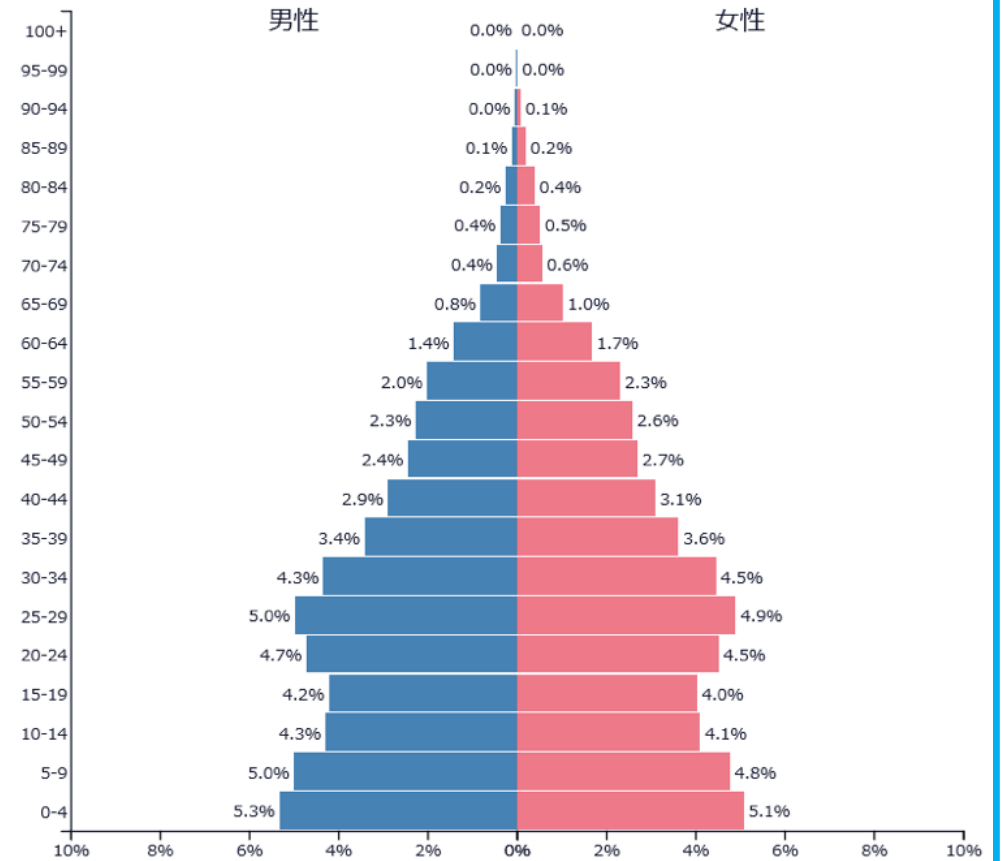
人口: 126,045,211



ウズベキスタン ▼

2017

人口: 30,690,913





## シンポジウム 観光日本語と 日本語教育

観光日本語に関する教育に先駆的に取り組んでいる海外各大学の取り組みをご紹介します。

**日時**  
2022年6月29日(水)  
16:00~18:00(日本時間)

**場所**  
筑波大学人文社会学系棟A316  
/YouTube LIVE 同時配信

**参加費**  
無料

**対面参加・LIVE視聴申し込み**  
申込完了後、YouTube LIVE視聴用URLをお送りします。  
<https://forms.gle/uyz8XB0kCjIMtaK429>

**タイムスケジュール**

16:00	趣旨説明
16:10	カザフ国立大学の教材作成プロジェクト ニノ宮崇司先生 (カザフスタン・カザフ国立大学)
16:35	ブーラ大学における観光日本語のシラバス イレーナ・スルダノヴィッチ先生(遠隔参加) (クロアチア・ブーラ大学)
17:00	マダガスカル人日本語ガイド向け教科書の作成過程 ~教科書のシラバス開発と教科書作成のプロセス~ ラクトマナナ・アンビニンツァ先生 (マダガスカル・アンタナナリボ大学)
17:30	質疑応答 筑波大学の研究
18:00	閉会

主催：JSPS研究拠点形成事業B、アジア・アフリカ学術基盤形成「社会的要請に対応可能な日本語教師職種の拠点形成」  
科学研究費助成事業(B)「CEFRの文脈化と日本語・日本語教育研究への応用」  
協力：CEGLOC日本語・日本語教育研究教育拠点  
問い合わせ：筑波大学 日本語教育研究拠点 base\_nihongo@un.tsukuba.ac.jp

# 日本からの観光客に対応する日本語教育の可能性

- 日本的なサービスとは何か
- 表現、語彙の収集
- 教材化



**シンポジウム**  
**ビジネス日本語と日本語教育**

JSPSアジア・アフリカ研究教育拠点として、ベトナム・フエ大学外国語大学と筑波大学が中核となって、ビジネス日本語人材の教育目的・方法を、日本語教育組織と日本語人材受入組織の観点から議論し、新たなモデルを構築する。

日時: 2022年8月6日(土) 10:00~12:00(日本時間)	<b>タイムスケジュール</b> ◆10:00-10:05: 趣旨説明 ◆10:05-10:35: ビジネス人材×日本語×ベトナム＝ ～求められるブリッジ人材を育成するために～ 小野瀬 貴久 (Ernst & Young (EY) ベトナムインドシナ統括パートナー、 ホーチミン日本商工会議所副会頭 兼 税務・通関委員会委員、 ダナン日本商工会議所副会頭)
場所: オンライン YouTube LIVE 同時配信	◆10:35-10:55: フエ大学外国語大学における日本語人材教育の現状 Ho Dang My An, Nguyen Thi Vinh Tu (フエ大学外国語大学)
参加費: 無料	◆10:55-11:15: 日本語人材受入組織からの問題提起 Ho Thi Ai Nhi (VBPO: Vietnam Business Productivity Optimization)
LIVE視聴申し込み:  <a href="https://forms.gle/6zffQZWPYxuKkn4o9">https://forms.gle/6zffQZWPYxuKkn4o9</a> 申込完了後、 YouTube LIVE視聴URLをお送りします。	◆11:15-11:35: ビジネス日本語教育実践の課題 近藤 彩 (昭和女子大学)
	◆11:35-12:00: 質疑応答

主催: ◆フエ大学外国語大学 ◆筑波大学  
◆JSPS研究拠点形成事業B. アジア・アフリカ学術基盤形成  
「社会的要請に対応可能な日本語教師養成の拠点形成」(代表 小野正樹)  
協力: ◆CEGLOC日本語・日本事情通関教育拠点 ◆筑波大学 国際局 国際室  
問い合わせ: ◆筑波大学 日本語教育研究拠点 base\_nihongo@un.tsukuba.ac.jp

• 現地日系企業との日本語教育の連携

- 日本的な情報伝達とは何か
- 情報判断力
- 交渉方法力





## • 世界的課題への向き合い方

- ウクライナの学生・難民への知的貢献
- **A**（ウクライナ人） 日本語力がゼロの外国語教師
- **B**（カザフスタン人）日本語教育経験豊富で、日本語とロシア語に堪能
- **B**が日本語教材をロシア語に翻訳
- **A**がそのロシア語をもとにウクライナ語に翻訳
- 産物として、ウクライナ語版、ロシア語版の教材開発

# 国際的連携としての日本語教育学の魅力

- 国際性、選ばれる日本への貢献
- 文理融合、国際ネットワークの構築と、新しい学術分野の開拓
- 社会的課題、多文化共生社会の解決の先導
- 具体的成果として、汎用的、あるいは個別的プロダクト生産
- 対話力の養成、異なる背景の人との相互理解と信頼構築

# ご清聴ありがとうございました



筑波大学 日本語教育研究拠点  
University of Tsukuba

本プログラム  
About Us

トピックス  
Topics

参加大学  
Partners

参加大学の取組み  
Activities

リンク  
Link

## 連携と創生

Collaboration and Creation

次世代への日本語教育人材育成研究拠点をめざして

Human Resource Development Hub for the Next Generation of Japanese Language Education Specialists

